



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-4330-3735  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	265,548	2.6	1,744	△37.1	2,905	△26.4	1,944	△1.3
23年3月期第1四半期	258,786	11.1	2,773	113.5	3,946	85.7	1,969	91.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,465百万円(54.0%) 23年3月期第1四半期 1,601百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	24	88	—	—
23年3月期第1四半期	26	50	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	522,804	115,983	22.2
23年3月期	518,389	110,916	21.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 115,983百万円 23年3月期 110,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00	—
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8 00	—	8 00	16 00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	530,000	2.0	2,900	△42.7	4,400	△38.4	2,300	△37.7	29	42
通期	1,075,000	1.5	6,900	18.2	9,500	0.2	4,900	△32.7	62	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	78,270,142株	23年3月期	74,582,502株
24年3月期1Q	95,157株	23年3月期	95,157株
24年3月期1Q	78,174,985株	23年3月期1Q	74,328,242株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の医療用医薬品市場は、本年3月11日発生の東日本大震災の影響もあり、前年同期間比1.2%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）の伸長にとどまりました。前期はメーカー仕切価格の上昇や医療機関との価格交渉が難航したことに加え、卸間の価格競争が激化したことなどにより、利益率が大幅に低下しましたが、当期は適正利益の確保を大前提に、当社独自の顧客支援システムを競争優位として提案型の営業活動を展開すると共に、未妥結・仮納入、総価取引、薬価差問題等の流通課題の改善に取り組みました。

グループの業容拡大の状況としては、本年4月1日に株式会社ショウエー（本社：青森県青森市）を株式交換により完全子会社といたしました。

また、本年4月に新たな物流拠点として、「TBC九州」を竣工、従来「TBC岡山」が担当していた九州・沖縄地区への医薬品供給を肩代わりし、物流面でのサービス向上と物流リスクの分散を図りました。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高265,548百万円（前年同期間比2.6%増）、営業利益1,744百万円（前年同期間比37.1%減）、経常利益2,905百万円（前年同期間比26.4%減）、四半期純利益1,944百万円（前年同期間比1.3%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、適正利益の確保の業務運営や提案型営業の成果により市場平均を上回る伸長をすることができました。当第1四半期の売上高は256,256百万円（前年同期間比1.8%増）、営業利益は685百万円となりました。

調剤薬局事業では、前期の新規連結子会社の増加の効果や既存子会社の順調な拡大により、当第1四半期の売上高は18,110百万円（前年同期間比20.2%増）、営業利益は1,085百万円となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第1四半期の売上高は50百万円、営業損失は17百万円となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第1四半期の売上高は299百万円、営業損失は26百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、386,038百万円となりました。これは、現金及び預金が230百万円、商品及び製品が1,854百万円、仕入割戻未収入金が596百万円、繰延税金資産が223百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が5,803百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、136,765百万円となりました。これは、建物が2,137百万円、土地が940百万円、投資有価証券が4,185百万円、関係会社株式が869百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が1,176百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、522,804百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、367,726百万円となりました。これは、短期借入金が4,328百万円、賞与引当金が1,724百万円、預り金が442百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が1,982百万円、未払法人税等が1,527百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.8%減少し、39,094百万円となりました。これは、長期リース債務が424百万円、繰延税金負債が1,583百万円それぞれ増加し、長期借入金が5,792百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、406,821百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、115,983百万円となりました。これは、資本剰余金が3,259百万円、利益剰余金が1,348百万円、その他有価証券評価差額金が520百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年 5 月11日発表の平成24年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月 4 日）を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,169	33,400
受取手形及び売掛金	258,654	252,851
有価証券	501	501
商品及び製品	64,052	65,907
その他	33,498	34,679
貸倒引当金	△1,210	△1,301
流動資産合計	388,666	386,038
固定資産		
有形固定資産	59,346	61,758
無形固定資産		
のれん	16,144	15,744
その他	2,907	2,832
無形固定資産合計	19,052	18,577
投資その他の資産		
その他	54,806	59,834
貸倒引当金	△3,482	△3,404
投資その他の資産合計	51,323	56,430
固定資産合計	129,722	136,765
資産合計	518,389	522,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	336,090	334,107
短期借入金	15,264	19,592
1年内償還予定の社債	370	356
未払法人税等	2,464	937
賞与引当金	3,345	5,069
役員賞与引当金	143	61
返品調整引当金	335	298
災害関連損失引当金	298	256
資産除去債務	1	0
その他	6,311	7,044
流動負債合計	364,624	367,726
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	19,680	13,887
退職給付引当金	2,273	2,050
負ののれん	3,637	3,367
資産除去債務	673	676
その他	16,553	19,082
固定負債合計	42,848	39,094
負債合計	407,472	406,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	42,884	46,144
利益剰余金	58,177	59,526
自己株式	△47	△47
株主資本合計	111,663	116,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,757	4,278
土地再評価差額金	△4,567	△4,567
その他の包括利益累計額合計	△809	△289
新株予約権	62	—
純資産合計	110,916	115,983
負債純資産合計	518,389	522,804

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	258,786	265,548
売上原価	236,319	243,179
売上総利益	22,467	22,368
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	9,563	10,016
賞与引当金繰入額	1,542	1,759
役員賞与引当金繰入額	36	24
退職給付引当金繰入額	133	85
福利厚生費	1,565	1,727
車両費	338	352
貸倒引当金繰入額	—	△19
減価償却費	677	648
のれん償却額	501	576
賃借料	1,719	1,790
租税公課	283	281
その他	3,330	3,381
販売費及び一般管理費合計	19,693	20,624
営業利益	2,773	1,744
営業外収益		
受取利息	38	30
受取配当金	391	581
受取手数料	619	678
負ののれん償却額	519	270
持分法による投資利益	40	—
雑益	325	453
営業外収益合計	1,936	2,015
営業外費用		
支払利息	155	129
持分法による投資損失	—	9
仮払消費税の未控除損失	552	643
雑損失	55	72
営業外費用合計	763	854
経常利益	3,946	2,905

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	7	0
貸倒引当金戻入額	49	81
段階取得に係る差益	—	252
事業譲渡益	9	—
その他	—	106
特別利益合計	67	442
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	11	25
投資有価証券評価損	—	31
災害による損失	—	60
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	334	—
その他	88	—
特別損失合計	434	116
税金等調整前四半期純利益	3,579	3,230
法人税、住民税及び事業税	2,574	1,111
法人税等調整額	△952	174
法人税等合計	1,621	1,285
少数株主損益調整前四半期純利益	1,957	1,944
少数株主利益	△11	—
四半期純利益	1,969	1,944

## 四半期連結包括利益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,957	1,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	517
持分法適用会社に対する持分相当額	40	2
その他の包括利益合計	△356	520
四半期包括利益	1,601	2,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,613	2,465
少数株主に係る四半期包括利益	△12	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品卸売事業と調剤薬局事業の運営会社を置き、各運営会社は国内における包括的な戦略を立案し、事業会社が事業活動を展開しております。

また、治験施設支援事業及び情報機器販売事業においては、当社と各事業会社が連携し、国内における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は医療用医薬品の販売及び医療関連その他を基礎としたセグメントから構成されており、「医薬品卸売事業」、「調剤薬局事業」、「治験施設支援事業」及び「情報機器販売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「医薬品卸売事業」は、医薬品・麻薬・検査薬等の販売、医療機器の販売をしており、「調剤薬局事業」は、保険薬局・在宅医療業務、医薬品販売をしております。「治験施設支援事業」は、治験施設の支援ならびに医薬品開発業務の受託をしており、「情報機器販売事業」は情報処理機器の企画・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	243,581	15,059	46	99	258,786	—	258,786
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,027	3	—	23	8,055	△8,055	—
計	251,609	15,063	46	123	266,841	△8,055	258,786
セグメント利益又は損失(△)	2,454	522	△25	△163	2,786	△13	2,773

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品卸売事業と調剤薬局事業の運営会社を置き、各運営会社は国内における包括的な戦略を立案し、事業会社が事業活動を展開しております。

また、治験施設支援事業及び情報機器販売事業においては、当社と各事業会社が連携し、国内における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は医療用医薬品の販売及び医療関連その他を基礎としたセグメントから構成されており、「医薬品卸売事業」、「調剤薬局事業」、「治験施設支援事業」及び「情報機器販売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「医薬品卸売事業」は、医薬品・麻薬・検査薬等の販売、医療機器の販売をしており、「調剤薬局事業」は、保険薬局・在宅医療業務、医薬品販売をしております。「治験施設支援事業」は、治験施設の支援ならびに医薬品開発業務の受託をしており、「情報機器販売事業」は情報処理機器の企画・販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	247,174	18,107	50	215	265,548	—	265,548
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,081	3	—	84	9,168	△9,168	—
計	256,256	18,110	50	299	274,717	△9,168	265,548
セグメント利益又は損失(△)	685	1,085	△17	△26	1,726	17	1,744

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。